



巻頭特集

まちをもっと“GREAT”に 松本青年会議所の挑戦

▲上原聖二理事長

松本をさらに豊かな場所に……。そんな思いを胸に抱きながら、実行に移している人たちがいます。松本青年会議所。どのようなビジョンを持ち、どのような活動をしているのでしょうか。今回は上原聖二理事長の話をベースとしながら、取り組みにスポットを当てます。

私たちのふるさとをより良く さまざまな事業企画

コロナ禍真っただ中の2020年8月、「夏の思い出の花火」と題して、松本市内の複数箇所から花火が上がったのを覚えているでしょうか。昨年には「I LOVE 松本城キャンペーン」と銘打った企画の一環として、松本城を舞台にしたクイズラリーがありました。

これらの事業は、松本青年会議所（JCI）が企画したものです。例えば花火はコロナ禍で松本だけでなく全世界が閉塞感にさいなまれていた時期。夏の思い出を作れなかった子どもたちや市民の皆さんに、同じ空を見上げてもらおうという思いでスタートしました。松本城のクイズラリーも同様。私たちの住みくらすまが誇るべき国宝・松本城に対する愛着をさらに深めるとともに、文化財保護を考えるきっかけにしようという考えがありました。

信州まつもと空港の活用も柱の一つ。松本にはない海の魅力を持つ宮古島と、宮古島にはない山の魅力を持つ松本を結ぶことができれば……。みやこ下地島空港へとチャ

ター便を飛ばしています。双方の交流を活発化させ、将来的には新規就航に繋げる青写真。地域発元気づくり支援金事業の助成を受け、「松本の空を熱くする」との思いから始めました。

先人をリスペクトしつつ 新たなまちのビジョンを描く

こうしたさまざまな事業を練り出すJCIとは、どんな組織なのでしょう。20歳〜40歳以下の若手が集まり、「広報拡大委員会」「まちの文化創出委員会」「地域の力響和委員会」など7つの委員会に分かれて活動。理事長は1年で替わりますが、「このまちをもっと良くしたい」という思いは脈々と受け継がれてきました。創設63年目の今年は、80人弱のメンバーが在籍。それぞれが本業を持っており、プラスアルファのエネルギーを湧き起こしてJCIの活動に打ち込んでいるのです。

「松本は住みやすいいいまちです。ただ、自分たちがいい影響を与えて、このまちをもっと良くすることを忘れてはいけません。先輩たちが積み上げてきたものをリスペクトしながら、そこにあらがいをかかっているのではなく、もっと思直に続けていくことが必要です」

「魅力と個性が集まるまちにしたいです。外から魅力ある人が入ってきて、逆でここで育った子どもたちは世界で活躍してほしい。さまざまな人が集まってエネルギーをもらえらる、パワースポットのようなまちで

ありたいと思っています」。上原理事長はそう熱弁します。

多様性を受け入れて変革 親しみやすさもアップ

高い理想を抱いて、実際にアクションに移していく集団。だからといって、決して参画へのハードルを高くしているわけではありません。必要なのはコンフォートゾーン、つまり快適な日常から一歩踏み出す勇気だけ。上原理事長は「誰でもできること」と受け止めてほしいです。駅伝と一緒に、ポジティブに走って次にたすきを繋ぎたいです」と強調します。

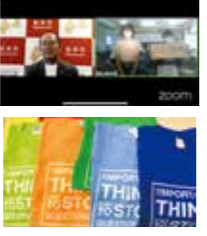
多様性が高まる社会のあり方にも対応しています。例えば昨年は、ドレスコードを一部緩和。従来はTPOに依じた規定がありましたが、ジェンダーの多様性を受け入れて新たな一歩を踏み出しました。今年の上原理事長はさらに、Tシャツにジャケットという比較的ラフなスタイルで年頭のあいさつをウェブに投稿。親しみやすさを感じさせます。

「今は多様性の時代で、会員にサラリーマンも多いです。一部の選ばれた人たちだけでやっているのではなく、確実に裾野は広がっていると思えます」と上原理事長。まだまだコロナの影響が色濃く残っていますが、中でも最大限やれることをエネルギーに展開するのがJCIです。今年のスローガンは「GOOD to GREAT」。変革への挑戦をしながら、私たちのま



松本子ども会議2021

松本市の子どもたち（小中学生）自らが感じるこのまちの課題や問題を自分で探し、調べ、市長へ提案するという事業です。2021年、このまちの「もっとこうなったらいいのに!」を子どもたちが臥雲市長に提案しました!



夏の思い出の居場所づくり事業

2020年の夏、コロナの影響により、各種イベントが中止になり、夏の思い出をつくる機会が奪われてしまった最中、当会議所は、地域の子どもの願いや思いなどを集め、そのメッセージが込められた530発の花火玉を、松本市内4カ所から同時刻に打ち上げました。



「新しい地図」特別会議事業～信州まつもとと空港一宮古島を繋ぐ～ 松本の空を熱くする事業～信州まつもとと空港宮古島空港を繋ぐ～ 食文化で結ぶ!松本の魅力再発見事業

信州まつもとと空港と沖縄県宮古島をつなぎ、世界屈指の観光ルートの創出に向け運動を展開。2018年より中学生による宮古島の魅力体験、チャーター便による両地域の訪問、食文化交流による「しんすこう」の共同開発を行いました。



国宝松本城愛着醸成事業 I LOVE 松本城

松本城への愛着を深めてもらうため、松本城をテーマとした謎解きクイズラリーを企画。たくさん子どもたちに、クイズを通して松本城やその歴史について学びながら、いつもと違う城下町の景色を楽しんでもらいました。

